

消防情勢



昭和62年から27年間菰野町を守り続けたはしご車(写真左)が役目を終え
今年から最新鋭の装備を備えた新しいはしご車(写真右)が配備されました。

新旧はしご車の交代

平成26年4月1日 於: 菰野町消防本部

菰野町の概要・位置図

菰野町は、三重県の北西部に位置し、西は鈴鹿山脈を境に滋賀県と接し、北はいなべ市に、東と南は四日市市に隣接している。

町の約3分の1を占める山岳地帯は、鈴鹿国定公園に指定されており、御在所岳、釈迦ヶ岳、鎌ヶ岳などは、多くのアルピニストに親しまれ、近年では登山ブームにより老若男女を問わず、人気を集めるスポットである。

さらに霊山幽谷に出で湯をもつ湯の山温泉や雄大な眺めとスリルに富んだ御在所ロープウェイ、景勝を織りなす溪谷の数々、緑豊かな丘陵地など、菰野町は鈴鹿国定公園の玄関口としてふさわしい。

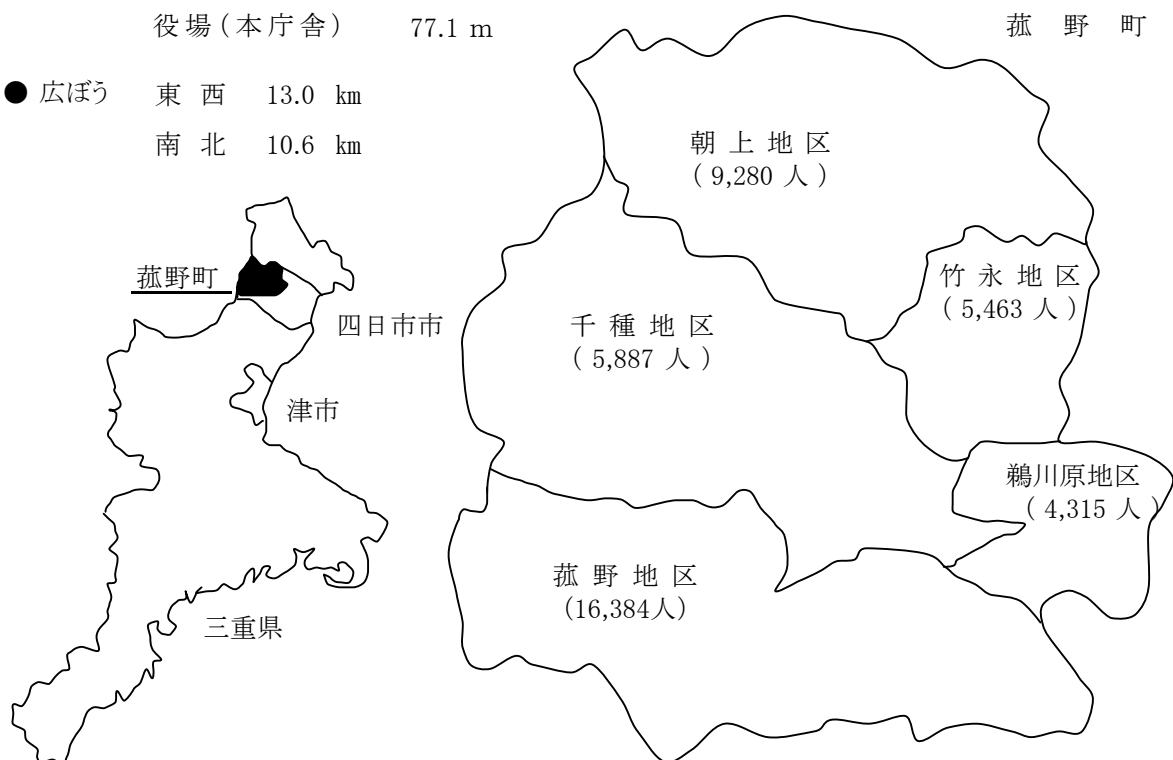
菰野町では、目指すべき将来像を「自然の中に人々が集う、笑顔と活力のまち 菰野」をスローガンに掲げ、町民の安全安心への思いや、絆を大切にしながら、自然との調和を基盤とした町づくりを推進している。

● 位置 / 北緯 35° 01' 43" (世界測地) ● 人口 / 41,329 人
東経 136° 30' 25" (平成26.3.31現在)

● 面積 / 107.28 km² ● 世帯数 / 15,387 世帯
(平成26.3.31現在)

● 海拔 / 御在所岳 1,212 m (最高地)
役場(本庁舎) 77.1 m

● 広ぼう 東西 13.0 km
南北 10.6 km



菰野消防のあゆみ

昭和58年(1983)

9. 30 町議会に常備消防特別委員会設置。

昭和59年(1984)

3. 5 自治省消防庁より昭和59年度における消防本部及び消防署義務設置町村
政令指定（内定）を受ける。
7. 19 消防庁舎建設工事着工。
8. 24 日本消防協会より救急車（2B型）の寄贈を受ける。
10. 21 役場庁舎において救急業務開始。（総務課消防防災係16名）

昭和60年(1985)

1. 31 消防庁舎完成。（コミュニティ防災センターを併設）
2. 14 消防庁舎において試行業務開始。
※ 4. 1 菰野町消防本部・消防署発足。
消防本部に消防課、予防課を置き、消防署に警防課を置く。 定数31名 車両5台
4. 2 消防庁舎竣工式及び開署式。

昭和61年(1986)

3. 25 ポンプ車（CD-Ⅰ型）購入。
11. 19 普通貨物自動車購入。

昭和62年(1987)

2. 26 はしご車（30m級）購入。
10. 14 （社）日本損害保険協会より救助工作車の寄贈を受ける。
10. 28 広報車購入。

昭和63年(1988)

4. 12 三重県消防職員意見発表会にて最優秀賞を獲得。
4. 21 東海支部消防職員意見発表会にて優秀賞を獲得。
7. 27 消防救助技術東海地区指導会水上の部（溺者救助）にて入賞。
8. 19 全国消防救助技術大会水上の部（溺者救助）にて入賞。

平成元年(1989)

1. 24 救急車（2B型）購入。
4. 18 菰野ライオンズクラブより広報車の寄贈を受ける。

平成2年(1990)

8. 2 消防救助技術東海地区指導会水上の部（溺者救助）にて入賞。
8. 24 全国消防救助技術大会水上の部（溺者救助）にて入賞。

平成4年(1992)

4. 10 三重県消防職員意見発表会にて最優秀賞を獲得。
4. 23 東海支部消防職員意見発表会にて優秀賞を獲得。

平成5年(1993)

12. 24 訓練塔敷地造成工事開始。

平成6年(1994)

- 4. 1 菰野町職員定数条例（消防職員）改正。（定数33名）
- 4. 8 三重県消防職員意見発表会にて最優秀賞を獲得。
- 4. 27 東海支部消防職員意見発表会にて優秀賞を獲得。

平成7年(1995)

- 2. 16 水槽付ポンプ車（水－IA型）購入。
- 3. 18 訓練塔竣工式。
- 12. 22 消毒室完成。

平成8年(1996)

- 3. 18 （社）日本損害保険協会より高規格救急車の寄贈を受ける。
- 4. 22 緊急消防援助隊旗の伝達を受ける。
- 12. 13 指令車購入。
- 12. 20 菰野町職員定数条例（消防職員）改正。（定数40名）

平成9年(1997)

- 4. 1 菰野町防災行政無線による広報を開始。
- 5. 15 救急救命士が誕生。

平成10年(1998)

- 2. 4 ポンプ車（CD－I型）購入。
- 4. 1 救急救命士業務の運用を開始。
- 10. 15 携帯電話による119番通報受信業務を開始。
- 11. 24 積載車購入。

平成11年(1999)

- 1. 21 広報車購入。
- 6. 2 救急救命士24時間体制開始。
- 8. 19 全国消防救助技術大会陸上の部（ロープブリッジ渡過）に出場。

平成12年(2000)

- 4. 14 三重県消防職員意見発表会にて優秀賞を獲得。
- 4. 20 東海支部消防職員意見発表会にて優秀賞を獲得。

平成13年(2001)

- 3. 7 高規格救急車購入。
- 3. 10 新通信指令室の運用を開始。

平成14年(2002)

- 4. 1 消防職員服制改正。

平成15年(2003)

- 8. 27 全国優良消防職員表彰受賞。
- 12. 6 救急医療功労者知事表彰受賞。

平成16年(2004)

- 4. 1 三重県防災航空隊へ職員1名を派遣(3年間)。
- 9. 3～4 三重県緊急消防援助隊野営訓練及び合同訓練を菰野町で実施。

平成17年(2005)

- 8. 3 救急救命士1名が気管内挿管講習及び実習修了。
- 8. 8 携帯119番直接受信開始。
- 10. 1 三重県内消防相互応援協定に基づく境界付近の応援に関する覚書を締結。

平成18年(2006)

- 2. 22 高規格救急車購入。
- 7. 13 救急救命士1名が薬剤投与追加講習及び実習修了。

平成19年(2007)

- 1. 30 水槽付ポンプ車（水ーⅠA型）購入。
- 8. 22 全国消防救助技術大会陸上の部（ロープブリッジ渡過）にて入賞。

平成20年(2008)

- 3. 14 救助工作車購入。
- 3～9 救急救命士3名が薬剤投与追加講習及び実習修了。
- 4. 11 三重県消防職員意見発表会にて最優秀賞を獲得。
- 4. 17 東海支部消防職員意見発表会にて優秀賞を獲得。
- 8. 28 全国優良消防職員表彰受賞。
- 12. 12 指揮車購入。

平成21年(2009)

- 4. 1 三重県消防学校教官として職員1名を派遣(3年間)。
- 6. 25 救急救命士1名が薬剤投与追加講習及び実習修了。
- 8. 1 Eメール119番通報の運用開始。
- 11. 30 耐震性貯水槽第1号が完成。

平成22年(2010)

- 4. 9 三重県消防職員意見発表会にて最優秀賞を獲得。
- 4. 16 東海支部消防職員意見発表会にて優秀賞を獲得。
- 12. 2 高規格救急車購入。

平成23年(2011)

- 4. 27 火災時における消防活動業務の協力に関する協定を締結。

平成24年(2012)

- 4. 1 菰野町職員定数条例（消防職員）改正。（定数46名）
- 4. 1 三重県消防学校教官として職員1名を派遣(3年間)。
- 4. 13 三重県消防職員意見発表会にて最優秀賞を獲得。
- 4. 20 東海支部消防職員意見発表会にて優秀賞を獲得。
- 8. 1 位置情報通知システム（統合型）導入。
- 12. 27 広報車購入。

平成25年(2013)

- 8. 21 全国優良消防職員表彰受賞
- 11. 18 救急医療功労者知事表彰受賞

歴代消防長

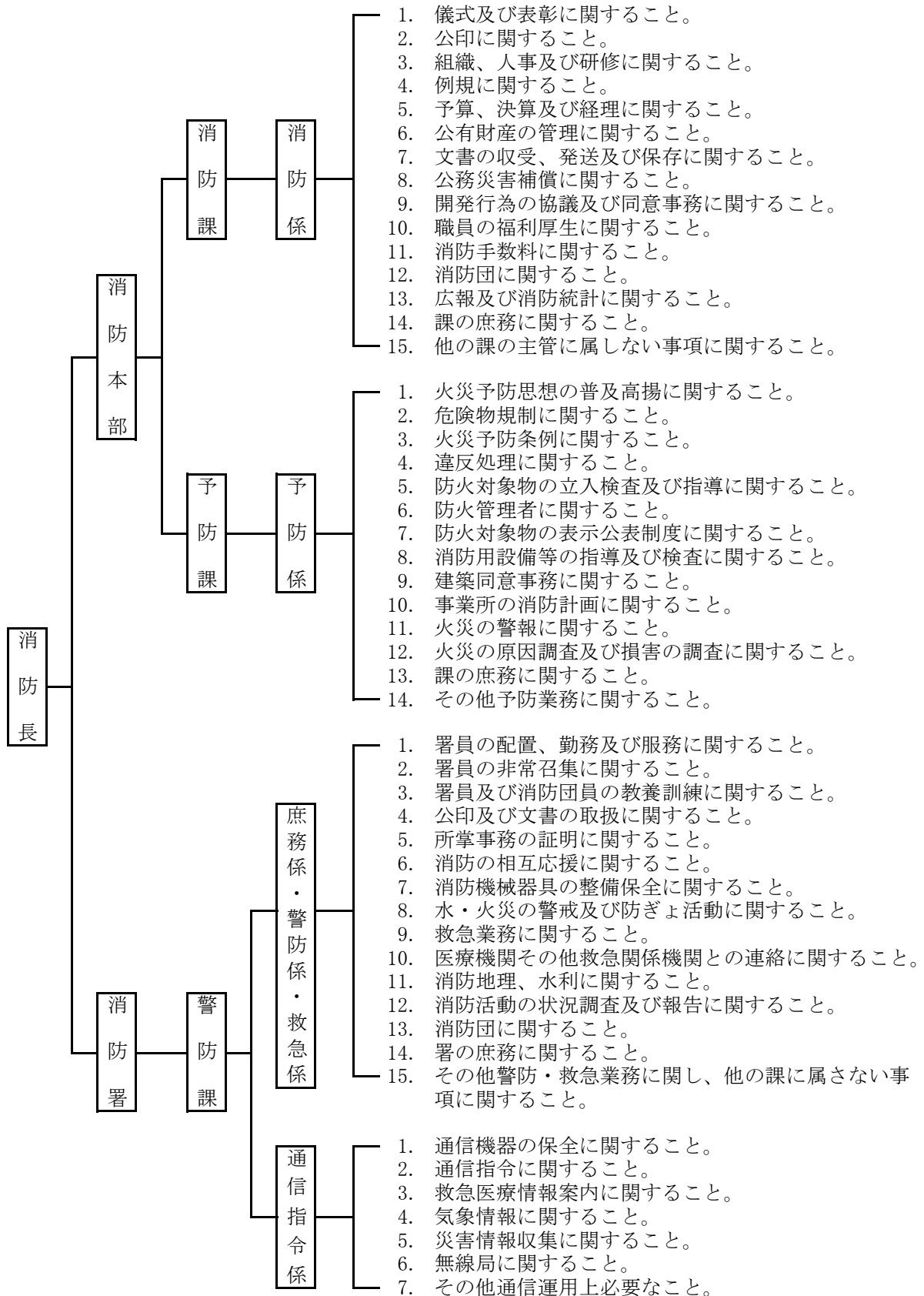
初代	大倉 二郎	自	昭和60年 4月 1日	至	昭和61年 3月31日
二代	田邊 正男	自	昭和61年 4月 1日	至	平成 3年 3月31日
三代	藤田 徹	自	平成 3年 4月 1日	至	平成 7年 3月31日
四代	石原 俊秀	自	平成 7年 4月 1日	至	平成11年 3月31日
五代	内田 芳隆	自	平成11年 4月 1日	至	平成13年 3月31日
六代	金津 正義	自	平成13年 4月 1日	至	平成16年 3月31日
七代	秦 隆	自	平成16年 4月 1日	至	平成18年 4月27日
八代	増田 幸生	自	平成18年 5月 1日	至	平成19年 3月31日
九代	川嶋 正典	自	平成19年 4月 1日	至	平成21年 3月31日
十代	内田 眞伸	自	平成21年 4月 1日	至	平成25年 3月31日
十一代	白木 康裕	自	平成25年 4月 1日	現	職

平成25年中の主な行事

1. 13	消防出初式〔保健福祉センター「けやき」北駐車場〕
1. 26	文化財防火デーに伴う特別消防訓練〔尾高観音〕
2. 17	防火広報〔町内一円〕
2. 26	春の火災予防運動に伴う特別消防訓練〔鶴川原幼保園〕
3. 1～3. 7	春の火災予防運動
4. 7	消防団辞令交付式〔消防本部〕
5. 22	菰野町防火協会理事会総会
5. 26	菰野町水防訓練
5. 30	危険物安全週間に伴う特別消防訓練〔山九(株)北勢第二物流センター〕
6. 2～6. 8	危険物安全週間
6. 30	菰野町消防団夏期訓練〔菰野小学校〕
7. 24	消防救助技術東海地区指導会〔三重県消防学校〕
8. 30～9. 5	防災週間
9. 1	菰野町総合防災訓練〔町内一円〕
9. 5	防災週間に伴う特別消防訓練〔オテル・ド・マロニエ湯の山温泉〕
9. 8～9. 14	救急医療週間
9. 22	消防自動車写生大会〔消防本部〕
10. 3	三重県消防職員警防技術交換会〔三重県消防学校〕
11. 9～11. 15	秋の火災予防運動
11. 10	秋の火災予防運動に伴う特別消防訓練〔鈴鹿スカイライン 武平峠展望台〕
11. 15	集団救急救護訓練〔消防本部〕
12. 28～12. 31	年末特別警戒〔町内一円〕

消防本部・消防署の組織・機構及び事務分掌

平成26. 4. 1現在



消防予算

(千円)

年度 \ 区分	常備消防費	非常備消防費	消防施設費	水 防 費	合 計
平成22年度	391,789	35,685	115,350	253	543,077
平成23年度	386,984	34,789	43,233	246	465,252
平成24年度	398,128	35,207	80,118	245	513,698
平成25年度	401,645	39,242	189,765	232	630,884
平成26年度	420,660	41,595	94,947	65	557,267

一般会計予算に占める消防費の割合

年度 \ 区分	一般会計予算 (千円)	消防予算 (千円)	比 率 (%)
平成22年度	11,770,000	543,077	4.6
平成23年度	10,850,000	465,252	4.3
平成24年度	11,450,000	513,698	4.5
平成25年度	11,100,000	630,884	5.7
平成26年度	11,344,000	557,267	4.9

消防費に対する人口・世帯当り額

年度 \ 区分	人 口 (人)	世 帯 (戸)	消防費 (千円)	人口 1人当りの 消防費(千円)	1世帯当りの消防 費(千円)
平成22年度	40,977	14,731	543,077	13	37
平成23年度	41,025	14,803	465,252	11	31
平成24年度	41,171	15,014	513,698	12	34
平成25年度	41,311	15,237	630,884	15	41
平成26年度	41,329	15,387	557,267	13	36

消防力の整備指針と現有消防力の比較

(台)

車 両	消防力の整備指針による基準車両	基準数	現 有 車 両	現有数	比 較
	消 防 ポ ン プ 自 動 車	2	水槽付消防ポンプ自動車 消 防 ポ ン プ 自 動 車	2	0
	はしご付き消防自動車	1	はしご付き消防自動車	1	0
	化 学 消 防 自 動 車	1		0	△ 1
	救 急 自 動 車	2	高規格救急自動車(1) 高規格救急自動車(2)	2	0
	救 助 工 作 車	1	救 助 工 作 車	1	0
	指 揮 車	1	指 揮 車	1	0
	計	8	計	7	△ 1

(人)

人 員	消 防 力 の 整 備 指 針 に よ る 区 分 別 算 定		基準数	現有数	比 較	
	警 防 要 員	消 防 ポ ン プ 自 動 車 (1)	5人×3部制＝15人	60	25	△ 35
		消 防 ポ ン プ 自 動 車 (2)	4人×3部制＝12人			
		救 助 工 作 車	5人×3部制＝15人			
		救 急 自 動 車 (1)	3人×3部制＝ 9人			
		指 揮 車	3人×3部制＝ 9人			
		救 急 自 動 車 (2)	(兼 務 運 用)			
		はしご付き消防自動車	(乗 換 運 用)			
		化学消防自動車【未配備】	(乗 換 運 用)			
	通 信 員		5	7	2	
	予 防 要 員		5	4	△ 1	
	そ の 他 の 人 員		6	8	2	
合 計		76	44	△ 32		

平成26.4.1現在

職員階級別・所属別配置状況

平成26. 4. 1現在

階級 所属		消 防 司令長	消防司令	消 防 司令補	消防士長	消 防 副士長	消防士	合 計
本 部	消防課	1	1	2	1		1	6
	予防課		1	2		1		4
署	警防課		1	15	5	5	8	34
合 計		1	3	19	6	6	9	44

職員階級別勤続年数状況

平成26. 4. 1現在

勤続年数	階級	消 防 司令長	消防司令	消 防 司令補	消防士長	消 防 副士長	消防士	合 計
1年未満							1	1
1年							3	3
2年								
3年							2	2
4年							1	1
5年						1	1	2
6年						1		1
7年							1	1
8年						1		1
9年								
10年					1	1		2
11年						1		1
12年					1			1
13年				1	1	1		3
14年								
15年					2			2
16年				2				2
17年				2	1			3
18年								
19年								
20年				5				5
21年				1				1
22年				1				1
23年								
24年								
25年								
26年				2				2
27年								
28年								
29年		1	3	5				9
30年								
合 計		1	3	19	6	6	9	44

職員階級別年齢状況

平成26. 4. 1現在

年 齢	消 防 司令長	消防司令	消 防 司令補	消防士長	消 防 副士長	消防士	合 計
18歳							
19歳						1	1
20歳							
21歳							
22歳						1	1
23歳						1	1
24歳						1	1
25歳						3	3
26歳						1	1
27歳					2	1	3
28歳					2		2
29歳					1		1
30歳							
31歳					1		1
32歳				2			2
33歳				1			1
34歳							
35歳				1			1
36歳				1			1
37歳				1			1
38歳			3				3
39歳			2				2
40歳			1				1
41歳			2				2
42歳			2				2
43歳							
44歳			1				1
45歳			1				1
46歳							
47歳							
48歳							
49歳			6				6
50歳							
51歳							
52歳							
53歳		2	1				3
54歳							
55歳							
56歳	1	1					2
57歳							
58歳							
59歳							
合 計	1	3	19	6	6	9	44

平均年齢 37.34 歳

外部研修等派遣状況

平成25年度

派遣先	区分	科 目	期 間	人 員
三重県消防学校		救助科 救助課程（第23期）	25. 10. 1～25. 10. 31	1
		特別科 気管挿管追加講習（ビデオ喉頭鏡）	25. 10. 1～25. 10. 2	2
		特別科 指揮課程（第1期）	25. 12. 2～25. 12. 6	2
		火災調査科 火災調査課程（第15期）	25. 12. 9～25. 12. 20	1
		特別科 救急救命士ブラッシュアップ指導者養成講習	25. 12. 19～25. 12. 20	2
		特別科 救急救命士ブラッシュアップ講習（第3期）	26. 1. 20～26. 1. 24	1
		特別科 特殊災害課程（第5期）	26. 1. 28～26. 2. 5	1
救 急		I C L S（二次救命処置講習）	25. 6. 2	1
		日本集団災害セミナー	25. 6. 8	1
		J P T E C（外傷）プロバイダーコース	25. 7. 6	2
		日本臨床救急医学会	25. 7. 12～25. 7. 13	1
		P A L S（小児・乳児二次救命処置講習）	25. 9. 14～25. 9. 15	1
		I S L S（脳卒中初期診療講習）	25. 9. 28	1
		B D L S（災害対応）プロバイダーコース	25. 10. 6	1
		救急コ・メディカルセミナー	25. 10. 11	4
		初級心電図セミナー	25. 10. 27	1
		B L S（一次救命処置）プロバイダーコース	25. 11. 9	1
		日本救急医学会 中部地方会	25. 11. 23	1
		12誘導心電図セミナー	25. 12. 8	1
		P S L S（脳卒中病院前救護講習）	26. 1. 18	2
		全国救急隊員シンポジウム	26. 1. 30～26. 1. 31	1
		救急救命士業務実施修練	26. 2. 2～26. 2. 7	1
救 助		アリゾナボーテックスフレーム講習	25. 11. 13～25. 11. 15	1
		アドバンスドロープレスキュー I	25. 12. 3～25. 12. 4	1
		全国消防救助シンポジウム	25. 12. 13	1
予 防		地下タンク定期点検技術者初回講習会	25. 8. 2	1
		違反是正研修会	25. 8. 21	1
		火災調査研究発表会	25. 10. 10	1
		東海支部違反是正事例発表会	25. 11. 8	1
		製品安全業務報告会	25. 11. 15	1
		東海地区消防機関事故原因究明技術研修会	25. 12. 6	1
		消防法令違反是正事例研究会	26. 1. 29	1
		企業防災対策指導研修会	26. 2. 21	1
そ の 他		酸素欠乏・硫化水素危険作業主任者技能講習	25. 6. 26～25. 6. 28	1
		消防・救急緊急自動車運転技能者課程	25. 12. 12～25. 12. 13	1

各種訓練実施状況

平成25年度

内容	区分	延 時 間	延 人 数	回 数
訓 育		6	85	5
地 理 及 び 水 利		277	367	127
火 災 予 防		120	176	63
勤 務 要 綱		174	361	82
消 防 行 動		14	104	22
消 防 戦 術		85	335	55
消 防 機 械		306	839	234
実 施 訓 練		516	1, 257	254
訓 練 礼 式		38	306	22
救 急 学		1, 432	857	291
体 育		105	1, 718	266

消防本部(署)庁舎の概要

平成26. 4. 1現在

所 在 地	三重県三重郡菰野町大字潤田4418番地 (敷地面積：6226. 17㎡)			
区 分	庁 舎	訓 練 棟		
	消防本部・消防署	主 塔	副 塔	倉 庫 棟
建 設 年	昭和60年竣工	平成7年竣工	平成7年竣工	平成7年竣工
構 造	RC2階建	RC4階建	鉄骨3階建	鉄骨2階建
建築面積	537. 7㎡	39. 4㎡	38. 6㎡	87. 6㎡
延床面積	858. 4㎡	129. 6㎡	94. 3㎡	175. 2㎡
1 F	528. 1㎡	32. 4㎡	32. 7㎡	87. 6㎡
2 F	309. 3㎡	32. 4㎡	32. 7㎡	87. 6㎡
3 F	(P. H) 21. 0㎡	32. 4㎡	28. 9㎡	
4 F		32. 4㎡		

通信施設状況

平成26. 4. 1現在

種 類	数 量	備 考
消 防 用 無 線 基 地 局	1局	こものしょうぼう(市町村波・県波・全国共通波1・2・3)
車 載 移 動 無 線 局	10局	こもの1～10(市町村波・県波・全国共通波1・2・3)
携 帯 移 動 無 線 局	10局	こもの101～105・こもの501～505 (市町村波・県波・全国共通波1・2・3)
消 防 団 車 載 移 動 無 線 局	10局	団波・市町村波
消 防 団 携 帯 移 動 無 線 局	4局	こもの601～604 (市町村波・県波・全国共通波1・2・3・団波)
菰 野 町 防 災 行 政 無 線 局	1局	指令台連動機能付
三 重 県 防 災 行 政 無 線 局	3局	衛星局・地上局・可搬型衛星地球局
携 帯 型 デ ジ タ ル 簡 易 無 線 機	15台	
救 急 車 積 載 携 帯 電 話	6台	
携 帯 電 話	2台	本部1・署1
報 知 電 話 (1 1 9)	2回線4ch	固定電話・携帯電話
救急医療情報システム災害時優先電話	1台	携帯電話
救 急 医 療 情 報 シ ス テ ム 端 末	1回線	
F A X	1回線2ch	一般用・福祉用
一 般 加 入 電 話	2回線4ch	
順 次 指 令 装 置	1回線	指令台連動
A S K メ ー ル 発 信 シ ス テ ム	1式	「菰野町行政情報メール」と連動
消 防 テ レ フ ォ ン ガ イ ド	5回線	指令台連動
E メ ー ル 1 1 9 受 信 装 置	2台	

現有消防車両

平成26. 4. 1現在

車種 \ 区分	車 名	規格等	登録番号	登録年月日	排気量(cc)	車両重量(kg)
は し ご 車	日 野	30m級	三重800は1877	H26. 3. 19	8,860	18,790
救 助 工 作 車	日 野	Ⅱ 型	三重800は1347	H20. 3. 13	7,680	11,140
水槽付ポンプ車	日 野	水-ⅠA型	三重800は1184	H19. 1. 29	6,400	7,560
ポ ン プ 車	い す ゞ	C D I	三重 88ま2910	H10. 2. 3	4,570	5,110
救 急 1 号 車	ニッサン	高規格	三重800す7167	H22. 12. 2	3,490	2,850
救 急 2 号 車	ニッサン	高規格	三重800す2244	H18. 2. 20	3,490	2,900
救 急 予 備 車	ニッサン	高規格	三重830た 119	H13. 3. 7	3,270	2,890
指 揮 車	ト ヨ タ	ワゴン	三重800す5463	H20. 12. 11	1,980	1,660
広 報 車	ト ヨ タ	ワゴン	三重800す8616	H24. 12. 27	2,690	2,120
積 載 車	三 菱	2t 積	三重 88ま5138	H10. 11. 24	4,560	2,590

消防水利状況

平成26. 4. 1現在

水 利 \ 地 区		菰 野	鵜川原	竹 永	朝 上	千 種	合 計
消 火 栓	管 径 50 mm 以 下	8	1	1	1	2	13
	管 径 75 mm	197	80	102	121	111	611
	管 径 100 mm	137	43	33	103	85	401
	管 径 150 mm 以 上	141	62	36	79	71	389
	合 計	483	186	172	304	269	1,414
防 火 水 槽	容 量 20 m ³ 未 満	2	—	—	5	3	10
	容 量 20 m ³ 以 上 40 m ³ 未 満	22	4	7	11	4	48
	容 量 40 m ³ 以 上	4	2	3	9	8	26
	耐 震 性 貯 水 槽 40 m ³	7	1	1	2	2	13
	耐 震 性 貯 水 槽 100 m ³	1	1	1	1	1	5
	プ ー ル	4	1	1	2	2	10
	合 計	40	9	13	30	20	112
自 然 水 利	河 川	45	12	9	82	50	198
	池	8	2	1	23	9	43
	合 計	53	14	10	105	59	241

応急手当普及啓発活動実施状況

菰野町消防本部では平成7年度から応急手当の普及啓発活動実施要綱に基づく普及活動を実施しており、止血法や固定法などを学ぶ救急講習、心肺蘇生法とAEDの取り扱い方法を学ぶ普通救命講習、各区や事業所などで普通救命講習を開催できる指導者を養成する応急手当普及員講習などを開催しています。

	救 急 講 習		普 通 救 命 講 習		応急手当普及員講習	
	回 数	受講者数	回 数	修了者数	回 数	修了者数
平 成 7 年 度	10	351	5	93		
平 成 8 年 度	16	330	7	78		
平 成 9 年 度	18	384	10	130		
平 成 10 年 度	12	310	8	90		
平 成 11 年 度	14	942	8	142		
平 成 12 年 度	14	382	11	206		
平 成 13 年 度	9	257	13	151		
平 成 14 年 度	9	396	24	408		
平 成 15 年 度	14	592	13	197		
平 成 16 年 度	17	828	16	263		
平 成 17 年 度	9	1,094	33	480	1	12
平 成 18 年 度	15	734	59	840	5	60
平 成 19 年 度	16	461	60	989	3	57
平 成 20 年 度	4	226	71	1,013	4	72
平 成 21 年 度	11	262	44	592	3	45
平 成 22 年 度	7	302	35	512	2	38
平 成 23 年 度	9	319	45	699	0	0
平 成 24 年 度	11	468	39	628	2	26
平 成 25 年 度	6	276	37	571	1	29
合 計	221	8,914	538	8,082	21	339

自主防災組織

平成26. 4. 1現在

(1) 婦 人 消 防 隊	菰野地区婦人消防隊 (昭和43年4月21日結成	385 人)
	鵜川原地区婦人消防隊 (昭和40年3月20日結成	77 人)
	竹永地区婦人消防隊 (昭和58年6月 1日結成	67 人)
	朝上地区婦人消防隊 (昭和42年4月 1日結成	159 人)
	千種地区婦人消防隊 (昭和57年4月21日結成	101 人)
合計 5 隊 総員 789 人		

(2) 自 警 団

合計 32 団 総員 702 人

菰 野 地 区	神 菰 野 明 区 (17 人)
	菰 野 第 一 区 (64 人)
	菰 野 第 三 区 (135 人)
	宿 野 区 (18 人)
	福 村 区 (35 人)
	神 森 区 (14 人)
計 6 団 総員 283 人	

鵜 川 原 地 区	大 強 原 区 (14 人)
	下 村 区 (15 人)
	川 北 区 (15 人)
	池 底 区 (12 人)
	吉 沢 区 (10 人)
	諏 訪 区 (9 人)
計 6 団 総員 75 人	

竹 永 地 区	竹 成 区 (11 人)
	永 井 区 (33 人)
計 2 団 総員 44 人	

朝 上 地 区	榊 涛 園 区 (13 人)
	松 園 区 (12 人)
	小 島 区 (20 人)
	田 口 新 田 区 (15 人)
	美 山 区 (10 人)
	田 口 区 (15 人)
	日 丘 区 (14 人)
	切 畑 区 (4 人)
	一 本 木 団 区 (13 人)
	青 葉 台 区 (9 人)
計 10 団 総員 125 人	

千 種 地 区	千 草 区 (20 人)
	音 羽 区 (10 人)
	潤 田 区 (34 人)
	三 滝 園 区 (39 人)
	岡 区 (15 人)
	福 松 区 (14 人)
	奥 郷 区 (10 人)
	江 野 区 (33 人)
計 8 団 総員 175 人	

緊急避難所

平成26. 4. 1現在

地 区 名	名 称	所 在 地	電話番号	収容人員
神 明	グリーンホテル	大字千草7054-173	392-3111	120
	神明区公会所	大字菰野8475-22		98
大 羽 根 園	大羽根園自治会公会所	大羽根園並木通4	394-1884	187
菰 野 第 一 区	茶屋の上公会所	大字菰野9743		48
	菰野第一区第一公会所	大字菰野9007	393-2116	88
菰 野 第 二 区	菰野第二区公民館	大字菰野2203-1	394-0940	241
菰 野 第 三 区	南部公民館	大字福村148		636
	第三区民栄会館	大字菰野1419-8		76
	川原町公会所	大字菰野1778		56
宿 野	宿野公会所	大字宿野230-1	394-0913	196
福 村	福村公会所	大字福村272	394-2744	170
神 森	神森集落センター	大字神森705	394-1984	100
大 強 原	大強原公会所	大字大強原3482-1	394-6237	141
下 村	下村公会所	大字下村2166-3		146
川 北	川北公会所	大字川北563	393-2074	244
池 底	池底集落センター	大字池底1152		123
吉 沢	吉沢集落センター	大字吉沢1792-2		132
諏 訪	諏訪公会所	大字諏訪3822		190
竹 成	竹成区公会堂	大字竹成2116	396-1880	253
永 井	永井集落センター	大字永井3882	396-1707	104
田 光	田光公会堂	大字田光2066	396-0127	272
杉 谷	杉谷公会所	大字杉谷2580	396-2319	198
榊	榊公会所	大字榊303		48
松 涛 園	松涛園公会所	大字小島417-185		108
小 島	小島集落センター	大字小島1687-1	396-4118	100
田 口 新 田	田口新田公会堂	大字田口新田2256		127
美 山	美山区公会所	大字田口新田232-32		40
田 口	田口公会所	大字田口2493		169
日 丘	日丘区公会所	大字田口新田117-66		48
切 畑	切畑公会所	大字切畑578-8		36
根 の 平	根の平公会所	大字根の平114-1		32
一 本 木 団 地	一本木公会所	大字榊895-44		74

地 区 名	名 称	所 在 地	電話番号	収容人員
青 葉 台	青葉台公会所	大字杉谷1572-187		118
千 草	千草公会所	大字千草2763	394-6280	152
	千草区民センター	大字千草2510		80
音 羽	音羽公会所	大字音羽585-1		94
潤 田	潤田集落研修センター	大字潤田499		239
三 滝 園	三滝園公会所	大字潤田650-177		78
岡	岡公民館	大字千草4127-10		170
福 松	福松構造改善センター	大字千草5364-16	394-5194	126
奥 郷	奥郷構造改善センター	大字千草6368-2	394-3773	129
江 野	江野区公会所	大字千草7045-897	392-2105	112

緊急避難所…有効スペース1㎡×1人

収容避難所

地 区 名	名 称	所 在 地	電話番号	収容人員
菰 野 地 区	菰野町 B & G 海洋センター	大字菰野4775-1	394-3177	381
	菰野小学校	大字菰野1490	393-2006	288
	菰野中学校	大字菰野1192	393-2112	357
	菰野高等学校	大字福村870	393-1131	382
鵜 川 原 地 区	鵜川原小学校	大字大強原913	393-2118	183
竹 永 地 区	竹永小学校	大字竹成2598-2	396-0009	198
朝 上 地 区	朝上小学校	大字田光66	396-0004	294
	八風中学校	大字田光3808-18	396-0012	338
千 種 地 区	千種小学校	大字千草3861	394-2590	333

収容避難所…体育館等3㎡×1人

収容避難所を補完する施設

地 区 名	名 称	所 在 地	電話番号	収容人員
菰 野 地 区	菰野保育園	大字菰野2098	393-2135	27
	菰野西保育園	大字菰野8870	394-0884	54
	菰野幼稚園	大字菰野1485	393-1179	69
鵜 川 原 地 区	鵜川原幼保園	大字大強原829-1	393-2405	36
竹 永 地 区	竹永幼保園	大字永井59	396-0527	51
朝 上 地 区	朝上保育園	大字田光3306-2	396-0114	44
	朝上幼稚園	大字田光4293	396-4774	41
千 種 地 区	千種幼保園	大字音羽2240	393-2406	51

◎補完施設とは、収容避難所の収容能力を超える被災者を受け入れる場合に利用する隣接の保育園・幼稚園で、収容人数は、ホール3㎡×1人。